

# 営農技術力向上を目指して スキルアップ講座を開催

## 農業技術振興センター企画情報部

### 【普及活動のねらい・対象】

農家の経営改善および地域農業振興を図るとともに、県の施策を推進するためには、普及指導員による指導と併せて、農家の一番身近にいるＪＡ営農指導員や農業共済職員等の指導力が重要になります。

しかし、近年、各農業関係機関の水田農業担当者は制度の大きな転換にさらされ、その説明や事業等の対応に追われています。一方、「団塊の世代」のベテラン営農指導員が退職され、若手指導員がベテラン指導員に付き添って農家への技術指導に回るという機会が減ってきています。

このため、ＪＡ、農業共済、肥料商組合など県内農業関係機関の技術職員を対象として、水田農業に係る営農指導に必要な技術の習得を目的とした営農講座を開催しました。

### 【普及活動の成果】

主な講義は下記の内容ですが、毎回その時期の水稲・麦・大豆についての生育概況等の説明も行いました。

第1回	5月20日	麦品質向上対策（クバ <sup>®</sup> ク含量・容積重・収量向上） 水稲の基礎知識
第2回	6月3日	水田を活用した園芸推進 「ブドウ、ナシの基本技術」 水田を活用した園芸推進 「加 <sup>®</sup> チャ、夕社 <sup>®</sup> 等春夏野菜」
第3回	6月24日	本年の水稲の生育と穂肥施用 水稲病虫害防除対策 獣害対策
第4回	10月8日	大豆の300A技術（狭畦密播、浅耕うね立同時播種） 新規需要米、稲WCSの栽培、耕畜連携 本年の麦の結果と次年度対策
第5回	1月25日	水田を活用した園芸推進（ブドウ、ナシ等果樹の剪定） 水田を活用した園芸推進（秋冬野菜）

場内の見学等を行うことで、実践力を高めるよう工夫を凝らしました。

また、質問形式にして、受講者に答えさせる方法で理解を深めることも試みました。園芸品目の講座では専門外の担当者も受講され、今年度県が推進している水田野菜の作付け拡大につながるものと期待しています。なお、本講座は県の「知恵だし、汗かきプロジェクト」事業として実施しています。

各講座の講師は、企画情報部、栽培研究部、環境研究部の各専門担当職員が努めました。

これまで5回実施し、各回とも40名前後の参加者があり、全講座受講された方もいました。

机上の講義だけでなく、センターほ

